

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			FICT BRANDの行動規範に人権の尊重を記載し、社長より全社員に説明と周知を行っている。Global Business Standardsにて詳細を明記し、内部通報規程及び制度により社内外の人権侵害の対応窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7				
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			上記内容に加え、階層別に合った教育を社内・外(外部講習会等)で実施する。また、社内啓発ポスターを随所に掲示し、社員全員に意識付けを実施している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8								16.1				
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			勤怠管理システムにより管理し、月1回の労働安全衛生推進会議にて状況報告をするなど定期的に管理職及び経営層に報告する仕組みがされている。また、RGA監査基準も合格している。							8.5 8.8												
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			FICT BRAND行動規範 Global Business Standardsより、外国人労働者に対する差別、人権侵害が起きないよう規程し、RGA監査にて差別等がないことを監査し、合格している。					4.4		8.7 8.8	10.2 10.3											
人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			国際規格ISO45001を取得、定期的なリスクの管理/対策の実施を行っている。また、状況の変化による新規リスクについても検証/対策(機展開会)もしている。					3			8											
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			年1回、派遣社員含む全社員対象に、ストレスチェックを行い、社員のメンタルヘルスの把握、対策の実施を行っている。 会場内に意見箱の設置や内部通報規程及び制度規定、その啓発により問題の抽出及び改善のための提案の收集対応窓口を設置している。					3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			HPに女性活躍推進に関する行動計画書を記載し、女性の活躍推進をアピール。採用の3割以上を目標に取り組んでいる。また多国籍人材の採用も推進、実施している。					5.1 5.5		8.5	10.2 10.3											
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社内規定「教育訓練規定」を制定し、対応している。 又、幹部社員による定期的な面談を実施し、個人と中長期的教育を検討し、実施している。					4	5.5	8 9												
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			就業規則、労務規定等社内規定に記載して対応している。また他の規定を含めて、社内ネットワークにて確認できる仕組みとなっている。					5.5		8.5	10.2 10.3											
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			1回以上1年に健診診断(特健会む)を実施している。また、必用に応じて産業医による面談が可能な限り実施。また、健診結果に基づく参加を推奨している。 また、健康診査受検率の目標の中で、社員の健康管理増進に関する目標を制定し対応している。(健康診査受検率100%など)					3			8											
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			一般廃棄物についてはできる限り分別を実施。その他産業廃棄物については法令に則り対応している。 環境に配慮した取り組みとしてISO14001を取得、環境方針として目標を設定し取り組んでいる。												11.6 12.4	14.1						
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			環境に配慮した取り組みとしてISO14001を取得、環境方針として目標を設定し取り組んでいる。							7.3					13							
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			環境に配慮した取り組みとしてISO14001を取得、環境方針として目標を設定し取り組んでいる。 (グループ会社提供)							7.2 7.3					12.4 13.3							
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			環境に配慮した取り組みとしてISO14001を取得。 環境影響評価を1回以上実施。PRTRに係る製品の使用量などを管理している。					3.9		6.3					11.6 12.4							

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【 <b>実績</b> の場合は選択入力	【 <b>予定</b> 】の場合は選択入力	具体的な取組 (異なるどの取組実績があれば、併せて記載) 【 <b>実績</b> 】を選択した場合はごちらに理由記載	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した取り組みとしてISO14001を取得。年1回以上実施している環境影響評価の中で、典型7公害などへの影響について評価し対応している。																15							
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			環境に配慮した取り組みとしてISO14001を取得。廃棄物を分別し、産廃、材利に分けて対応している。															12.5	14.1							
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			環境に配慮した取り組みとしてISO14001を取得。毎月部門ごとに使用量が報告されており、各部にて削減対応している。地下水の活用を推進して、市水の使用量をできるだけ削減している。																6.4	6.6						
環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			環境ISO14001継続取得済み																12	13.3	14	15				
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			環境方針、重点テーマなどはHP上で開示している。 環境に係るデータについては今後検討していく。																	12.6						
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【 <b>予定</b> 】	PPA等2024年以降に検討予定並行して、CO2フリー電力の適用を検討 黒鉛事業所はすでに適用済み(2024年度～100%)																7.2		13					
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			深層地下水の利用推進を実施 RGA監査を受審する中で責任ある飼料調達調査を実施し飼料の持続的利用に配慮した調達を実施。																12.2	13	14	15				
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			FICT BRAND行動規範 Global Business Standardsの項目「不適切な利益の排除」にて汚職・贈収賄の禁止を規定し、社内に啓蒙ポスター掲示。又年1回、コンプライアンス教育を全社員(派遣社員含む)実施している。																	16	16.5					
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			FICT BRAND行動規範 Global Business Standardsの項目「公正なビジネスルール」にて不正競争行為に關与しない旨を規定し、社内に啓蒙ポスター掲示。又年1回、コンプライアンス教育を全社員(派遣社員含む)実施している。																	16						
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			FICT BRAND行動規範 Global Business Standards範囲にて、知的財産の保護方針について規定し、知的財産権推進委員会を設置して、特許出願や他社特許権侵害防止に努めている。															8.2	9							
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報管理制度を整備し、個人情報の取り扱いルールを規定し、年に1回情報セキュリティ教育を実施し、全社員に教育を行う。また、情報セキュリティ監査を年に1回実施し、顧客状況を監査している。																	16						
26	【紛争結論】 ・紛争結論を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			RGA監査を受審する中で責任ある飼料調達調査を実施し飼料の持続的利用に配慮した調達を実施。																16							
27	【サプライヤー管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			サプライヤーからRGA行動規範の順守の誓約書を2年に1度入手している。														5	8	10	12	13	14	15	16	17	
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【 <b>予定</b> 】	2024年内に作成、公表予定。															3			8	9	10		1	

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			社内規定「製品・サービス・安全推進規定」を制定し、活動を推進している。 設計段階にて、顧客要求事項を精査し対応している。 ・PWS関連の「要要素事項について」は社内基準に記載されており、出荷検査及び梱包時に確認している。(保証期限など)			3.9										12.4					
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	基本			ISO9001を取得。継続的に取り組んでいる。 顧客グリーン対応など、品質を保証する仕組みを構築しており、随時対応している。また、定期的に(1回/月)社内会議(品質会議)にて周知徹底及び対策の横展開を図っている。									9									
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			社内規定「商品仕様書制度」を制定、商品企画段階で、環境対応の確認を実施し、設計段階にて顧客要求事項を踏まえ、材料など環境影響を考慮した設計によるよう検討している。					6					12	13	14	15					
	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			騒音対策として、夜間の商業物処理は禁止、及び河川への排水については、法規基準値を確認し排水している。				4					9	11	12	14	15	17				
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			年1回以上、地域住民と共同で環境活動(ゴミ拾い)及び、山林の維持管理活動を実施している。				4					11			14	15	17				
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			一部エネルギー(電気、水など)以外は地域資源での対応は難しい状態にあります。								8	9	11	12	13						
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			FICT BRANDを掲げ社外HPに記載しており、全社員に内容が記載してあるパンフレットを配布、また、「1回以上/年に、方針説明会を利用していく」全社員に周知徹底をしている。								8	9							17		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			FICT BRANDに記載しており、1回以上/年に、方針説明会を利用して、全社員に周知徹底をしている。 また、年に1回コンプライアンス教育を実施し啓発している。																16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			RBA会社責任者、責任者(担当役員)を任命して対応している。																	16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本			適宜ステークホルダーと対話し、常に自社の活動が及ぼす影響の把握とその対応に努めている。																16	17	
組織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			年1回、内部統制評価表にて、リスクの洗い出しを実施、適切な対策を講じ、又、結果を経営層に報告し承認を得ている。																16		
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			RBA監査を受審しプラチナステータスを獲得している。CSR方針・対応規則に、A労働、B安全衛生、C環境、D倫理、Eマネジメントに制定・記載し、対応を仰っている。																16		
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			事業継続マネジメントに対応するため、基本計画書、ワークシート、全体行動マニュアル、個別行動手帳書を整備している。								9	11	13	13.1						16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			各本部ごとに本部長代理を人選し対応している。								8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州里山かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるばし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林C02吸収評価認証制度、長野県県産材C02固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直結的に当てはまる場合は■、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は■で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格

※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定